

6. 3月11日(火) プレス発表(藤沢市記者クラブ 他)

2003年3月12日(水) 神奈川新聞 朝刊

藤沢市と慶大 在宅介護の実験 スタジオを公開

IT(情報技術)を健康や介護に活用し、在宅介護の充実を目指した藤沢市と慶応大学などの実証実験「e-ケアタウンふじさわ」が進んでいる。慶大は十一日、実験に参加する市民モニターと高速回線で結ばれ

ている実験スタジオを報道陣に公開した。

スタジオは同市遠藤の慶大湘南藤沢キャンパス近くの住宅二階(約百平方メートル)を借り上げ、実際に家庭で

の入浴法や介護法をインターネット会議で説明できるようにトイレや風呂を設置。介護や看護の動きを多角的に写せるカメラも取り



実証実験で使われているスタジオには介護法を説明する風呂場などが設置されている
＝藤沢市遠藤

付け、この映像をネットにつながれた市民モニターのように流して、双方向のやりとりができる仕組みになっている。

六つの実験プログラムのうち、「ファミリーケア・プログラム」と「介護ケア・プログラム」は、ベッドに取り付けたセンサーで高齢者や要介護者の心拍数や呼吸数を把握、健康管理に役立てる。慶大ではスタジオからネット会議で介護法などをアドバイスしている。

実験は、国の「インターネット基盤技術の高度化事業」(e-プロジェクト)の一環。本年度の実験費用は三億四千七百万円。

(鈴木 昌紹)

藤沢市 e-ケアスタジオ公開

看護・介護に IT活用 実証実験を開始

藤沢市や慶応大、NTT東日本などが産学官連携で、IT(情報技術)を活用した看護・介護システムを開発するプロジェクト「e-ケアタウンふじさわ」の実証実験が二月から本格的に始まり、十一日、同市遠藤の同大湘南藤沢キャンパス近くに建設された「e-ケアスタジオ」が公開された。

同市などは、総務省が全国公募していた「インターネット基盤技術の高度化事業」で、介護福祉分野の実施地域に選ばれた。



e-ケアスタジオにはセンサーで高齢者の健康状態を確認できるベッドパット、在宅介護の現場を再現できるトイレやお風呂がある
＝藤沢市連藤

ネット上で交流すること、送ることができるエアロバイクが公開された。

また、高齢者がボタンを押すだけで「メールを見たら電話を下さい」「これから散歩に行きま」などのメッセージが「これから散歩に行きま」に運動量などの情報を「速く」に家族のメールに届くという機器も好評だという。

産経新聞